



一中だより

1 月号
令和 5 年 1 月 10 日
小平市立小平第一中学校

■生成AIとどう付き合うか

校長 栗林 昭彦

昨年は chatGPT をはじめとする生成AIが広く認知された年でした。新語・流行語大賞でも「生成AI」が表彰されていました。昨年の卒業式で chatGPT の話を取り上げましたが、こんなにも早く私たちにとって身近なものになったことに改めて驚きを感じます。学校教育においてもこれらは無視できないものになっています。すでに昨年の 7 月に文部科学省は「生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を発表しており、全国のパイロット校が取り組んだ実践研究発表が年度末にも開催されます。この伝播の速度を見ると、「使わないといけないうちにもない」なんて考えてるうちに、あっという間に取り残されてしまうことになりそうです。

学習において生成AIの優れたところは、「個別最適な学習」に対応できることだと思います。ある事柄について一斉に話を聞いて理解するのでなく、わからないところについては個別に聞くことができるメリットがあります。しかもただ見るだけの動画教材等と違うのは、「よくわからないんだけど、別の方法で説明してくれない？」と頼めば、たちどころに説明をしてくれるということでしょう。説明の仕方も文字だけでなく音声や動画も提供してくれるわけですから、専属の家庭教師がずっとついてくれているようなものです。これ一つとっても、今後「使わない」という選択肢はないのだろうと思っています。

しかしこれらに依存することには大きな危険があります。まず精度の問題。現段階では得意、不得意があるようです。数学や歴史のような、正解がネット上にあるものには強いですが。しかし先日「井上ひさしの代表作とあらすじ、その評価を教えてください」と聞いたら、ありもしない作品をあげ、しかもそこにもっともらしい説明まで付していました。現段階では、まだ100%の信頼のおける代物ではないということです。一方で、現状の日進月歩感を見ると、たぶん早い段階で苦手分野も克服していくのだろうとは思いますが。

もう一つ、この「もっともらしい」というところが曲者だと思っています。いろいろな場面でこれに頼っていると、誰もがもっともらしい、同じような答えしか出せないことになりはしないか。3年生の受験に向けた面接練習が始まっていますが、模範解答を作成してそれを覚えてくる面接は、たいていの場合どこかで破綻します。問いに対して自分の頭で考え、自分の言葉を紡ぎだしてくる生徒と、模範解答を暗記している生徒の差は一目瞭然。そして当然、前者の方が高いポテンシャルを伝えることができるわけです。

生成AIには様々な可能性があり、これをうまく使うことができれば多くの問題が解決することになるでしょう。懸念や危険性ばかりを述べて使わないよりは、使っても失敗してもこれらをうまく利用できる力を付けておくことは今後の社会を生きる生徒たちには重要なことだと思います。生成AIにやらせられることは今後さらに増えていきます。その時に、AIよりもクオリティの低い仕事しかできない人間は到底評価されません。「学力」についての考え方も、今後見直さなければいけないのかもしれないかもしれません。

生成AIは、世界中のネット上にある情報をつなぎ合わせて最適と思われる解答を示してくれます。そこに太刀打ちできる人間は、新たな情報を提供する側にいる人間です。様々な体験、幅広い読書、それらを自分の中で咀嚼し、再構成して新たな価値を作り出せるような人材を育てていく。学校教育にもパラダイムシフトが迫られます。

■席書会を実施します



13日土曜日は授業日です。授業公開も兼ねておりますので、ぜひ生徒の様子をご覧ください。1、2年生、I組は席書会を行います。例年3学期のはじめに、学年ごとに体育館で書初めを行うもので、本校伝統になっています。毎年、釧持勉先生（書写指導については第一人者の先生です）をお迎えし、ご指導をいただいています。

どれだけA Iが進歩しても、新年の清新な雰囲気の中で、墨の香りを感じながら毛筆で書初めをするという経験は代替できるものではありません。本校よき伝統だと思っています。これまでは底冷えのする体育館での実施でしたが、今年度は体育館にもエアコンが付いたので、震えながら書くような状況からも解放されます。とはいえ、ご参観の皆様は、防寒を意識した服装でおいでくださいますようお願いいたします。

■1月の主な予定

日	曜	学校行事等	I組	給食			
				1	2	3	I
1	月	元日					
2	火						
3	水						
4	木						
5	金						
6	土						
7	日						
8	月	成人の日					
9	火	始業式		×	×	×	×
10	水	給食始		○	○	○	○
11	木	一橋学級始 専門委員会 中央委員会		○	○	○	○
12	金	生徒朝会		○	○	○	○
13	土	土曜授業日 席書会(1,2)	席書会	×	×	×	×
14	日						
15	月	振替休業日					
16	火	避難訓練		○	○	○	○
17	水	※ 特支学級作品展始		○	○	○	○
18	木			○	○	○	○
19	金	※ 英検		○	○	○	○

※は放課後学習教室実施予定日です。

20	土	特支学級作品展終					
21	日	スキー教室(1)始					
22	月	学習指導要領実施状況調査 (2A数)		×	○	○	○
23	火	スキー教室(1)終		×	○	○	○
24	水	振替休業日(1)		×	○	○	○
25	木			○	○	○	○
26	金	都立高推薦1日目		○	○	×	○
27	土	都立高推薦2日目					
28	日						
29	月			○	○	○	○
30	火			○	○	○	○
31	水	学習指導要領実施状況調査 (2A英)		○	○	○	○
2月の予定		2(金)都立推薦発表					
		学習指導要領実施状況調査 (1B社) 5(月)全校朝会					
		6(火)新入生保護者説明会 7(水)中学校体験入学					
		8(木)学習指導要領実施状況調査 (3C国)					
		9(金)多摩特研劇と音楽の会 専門委員会					
		10(土)私立高一般入試 12(月)休日					
		13(火)生徒朝会					
		16(金)学習指導要領実施状況調査 (3C理)					
		20(火)学年末考査(1,2)					
		21(水)都立高一般入試 学年末考査(1,2)					
		22(木)学年末考査(全) 26(月)学年末考査(3)					